



館蔵資料展

縄文貝塚 貝の花遺跡

【会場】松戸市立博物館企画展示室

観覧料
無料

令和
元年

10/5(土) ▶ 11/24(日) 9:30~17:00
(入館は16:30まで)

同時開催：公益財団法人出土遺物公開事業 eco生活事始め



(写真撮影：小川忠博)

【休館日】毎週月曜日(但し、10月14日・11月4日は開館)・10月15日(火)・11月5日(火)
【主催】松戸市立博物館 【後援】(公財)松戸市文化振興財団 / 千葉県 / (一社)松戸市観光協会
【協力】新京成電鉄株式会社 / 北総鉄道株式会社 / 流鉄株式会社

松戸市立博物館
MATSUDO MUSEUM
〒270-2252 千葉県松戸市千駄堀671 ☎047-384-8181





鉢形土器(縄文時代晩期)

貝の花遺跡は縄文時代中期～晩期(約4500～3000年前)の集落遺跡で、1964・65年度に発掘調査が行なわれました。その成果は1973年に刊行された発掘調査報告書にまとめられています。この展覧会では出土品の数々を鑑賞していただくとともに、発掘調査報告書刊行以降の研究によって明らかにされた貝の花遺跡の「姿」についても紹介します。



深鉢形土器(縄文時代晩期)製塩土器



貝輪(左4点 縄文時代後・晩期)
土製耳飾(右3点 縄文時代後・晩期)



土版(左3点 縄文時代晩期)
有孔円板(右3点 縄文時代晩期)



深鉢形土器
(縄文時代晩期)



皿形土器(縄文時代晩期)



石剣(左3点 縄文時代晩期)・石棒(右2点 縄文時代後・晩期)



深鉢形土器(縄文時代後期)

(写真撮影:小川忠博)

講演会(無料) 会場:博物館講堂 (①当館友の会共催)

①「新しい貝の花遺跡の姿」

【日時】令和元年10月19日(土)13:00～15:00

【講師】大森隆志(当館学芸員)

【定員】80名 当日先着順

②「縄文の美を楽しむー海辺の縄文文化ー」

【日時】令和元年10月26日(土)13:00～15:00

【講師】井出浩正氏(東京国立博物館教育講座室長)

【定員】80名 抽選

◆申込方法 下記の(A)または(B)

(A)web申し込み:当館ホームページよりご応募ください。(B)往復はがき:一人一枚に住所・氏名(ふりがな)・電話番号・返信用宛名を明記して、「10/26歴史を語る③」係へ。

10/10(木)必着

講演会の一部で、一時預かりあり(6ヶ月～小学2年生、無料。申込については電話でお問い合わせください。)

学芸員による展示解説会

【開催日】10月13日(日)・11月16日(土)・24日(日)

【時間】14時30分～(所要時間約30分)

【会場】企画展示室

【申込】不要(直接会場へお越し下さい)



交通案内

■新京成線「八柱駅」・JR武蔵野線「新八柱駅」下車、徒歩15分。または、松戸新京成バス小金原団地循環・新松戸駅行「公園中央口※」下車すぐ。

■JR武蔵野線・常磐線「新松戸駅」下車、松戸新京成バス八柱駅行「公園中央口※」下車すぐ。

※10月25日から森のホール21・公園中央口に名称変更

▶お車でのご来館の方へ

来館者専用の駐車場はございません。21世紀の森と広場の有料駐車場をご利用下さい。なお、当館では障害者専用の駐車場をご用意してあります。詳しくはお問い合わせください。

